

autoFTP Client ver2.0

ユーザガイド

目 次

- 1 概要
- 2 用語の定義
- 3 autoFTP Client 機能説明
 - 3-1 必要システム構成
 - 3-2 画面・機能紹介
 - 3-3 アイコン種類
- 4 利用の流れ
 - 4-1 インストール
 - 4-2 FTP機能
 - 4-3 autoFTP機能
 - 4-4 その他の使い方
- 5 バージョン2.0からの新機能
 - 5-1 カレンダー機能
 - 5-2 その他の変更点

1 概 要

autoFTPは、日時を設定してアップロードを行うFTPサービスです。

あらかじめお客様に日時とサーバーを設定して頂き、アップロードするファイルを当社サーバーでお預かりします。設定された日時にお客様に代わり、当社サーバーが、お預かりしたファイルをお客様のサーバーにアップロードするシステムです。

autoFTPをご利用頂くと、

「朝」でも「夜」でもスケジュール通り自動でアップロードできますので、ECサイト上でのイベント用の商品データやバナー等も、時間通りに自動で設置～撤去を行う事ができ、張り忘れや、撤去忘れを防ぐことができます。

1ヶ月先や2ヶ月先、1年先のスケジュールを設定することも可能なので工夫次第で利用方法は無限大です。

2 用 語 定 義

autoFTP又は当システム

提供いたしますサービスの名称で、サービスに関わるすべてのシステム全体を指します

autoFTP Client又はクライアントソフト

autoFTPをご利用頂くためにユーザーのPCにインストールして頂くソフトの本体です

スケジュールサーバー

autoFTP 内で、お客様からデータを預かり、指定日時にアップロードする機能を担うサーバー

アカウント

autoFTPをご利用頂くために、ユーザー登録を経て取得して頂く当システムの利用資格です

ライセンス

アカウント毎に付与され、autoFTPをご利用頂くために必要な当社との契約の種類です。

新規にアカウントを登録された時点では無料でご利用いただけるライセンスが付与されており、月々のご利用回数毎にいくつかの種類のライセンスをご用意いたしております。

詳しくは当社オフィシャルサイト又は、 autoFTP Clientでご確認ください。

接続

当マニュアルで単に接続という表現はFTPサーバーへの接続の意味で使用します。

ログイン

当マニュアルで単にログインという表現はautoFTPへのログインの意味で使用します。

3 autoFTP Client 機能説明

autoFTPをご利用頂くために、まずはautoFTP Clientと言うクライアントソフトをPCにインストールして頂く必要があります。入手方法は当社オフィシャルサイトから入手してください。当システムのご利用は、クライアントソフトから行います。

クライアントソフトは当サービスに、ご登録頂かなくても簡易的なFTPソフトとして動作致します。簡単に操作できるFTPソフトとしても是非ご利用ください。

インストールするために必要なシステム構成は下記になります。

3-1 必要システム構成

OS

Windows XP SP3 以降

Windows Server 2003 SP2 以降

Windows Vista SP1 以降

Windows 7

Windows Server 2008 (サーバー コア上での動作はサポートしません)

Windows Server 2008 R2 (サーバー コア上での動作はサポートしません)

ハードディスク

(autoFTP Client + 必要なランタイム)

500MB

CPU

1 GHz 以上の Pentium または同等のプロセッサー

RAM

512 MB 以上

その他の必要なコンポーネント

windows Installer 3.1 以降

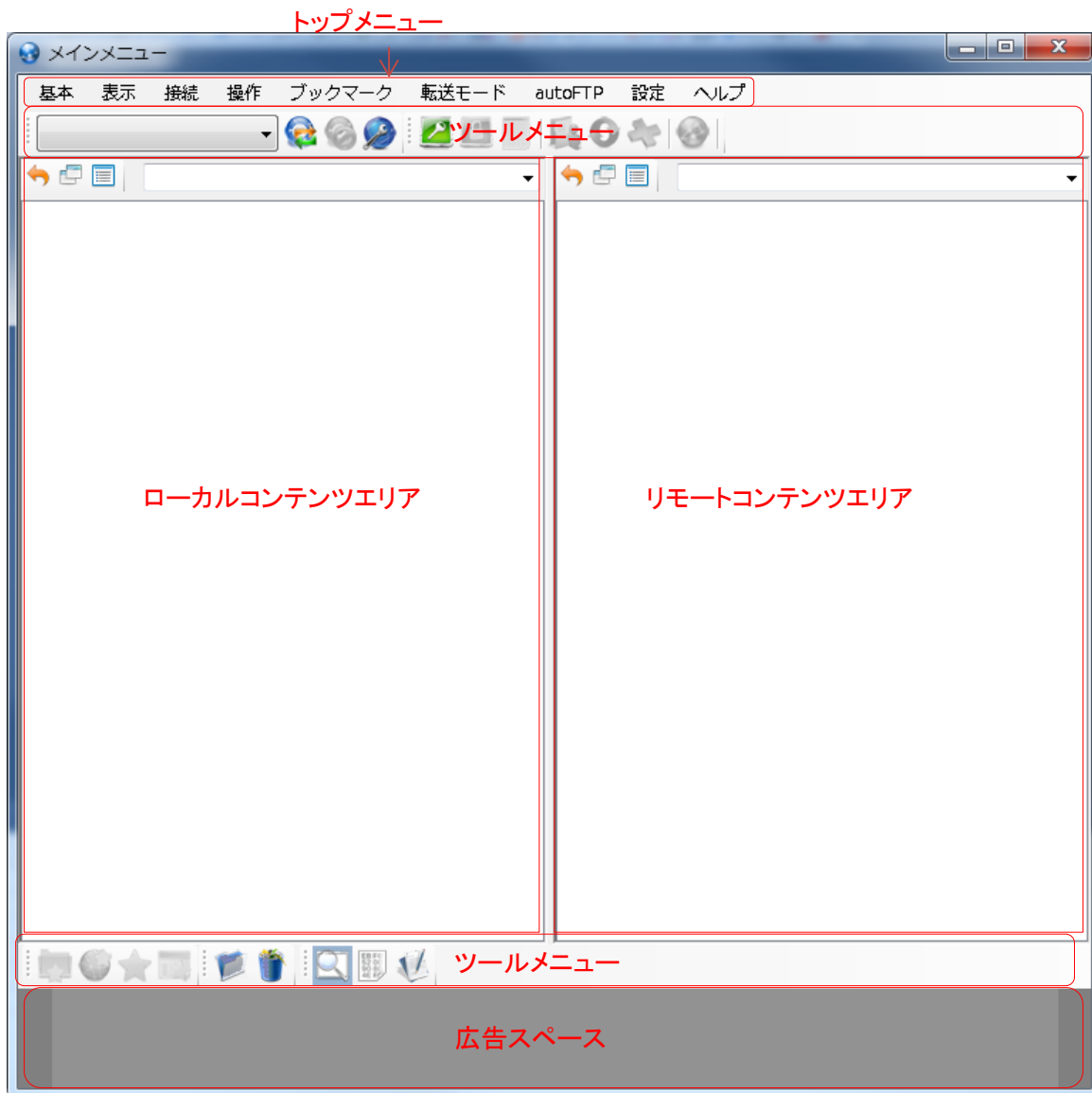
Internet Explorer 5.01 以降

.NET Framework 4

※ 不足しているコンポーネントはインストール時に自動でインストールが開始します

3-2 画面・機能紹介（メインメニュー）

autoFTP Clientの起動時の画面です。すべての機能はこの画面からアクセスします。



トップメニュー

ここから様々な機能にアクセスします

ツールメニュー

ここから様々な機能にアクセスします

ローカルコンテンツエリア

PC上にあるファイルやフォルダを表示するスペース

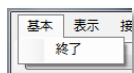
リモートコンテンツ

FTPサーバー上にあるファイルやフォルダを表示するスペース

広告スペース

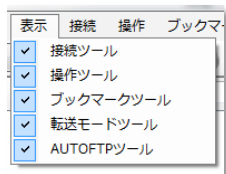
ここに様々な広告が表示されます

3-2 画面・機能紹介（トップメニュー）



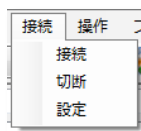
基本メニュー

ソフトの基本的な操作を行うメニューです



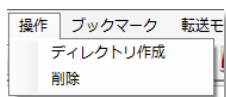
表示メニュー

ツールメニューの各ツールの表示・非表示を設定します



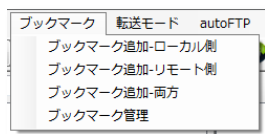
接続メニュー

FTPサーバーの設定・管理やFTPサーバーに接続・切断を行います



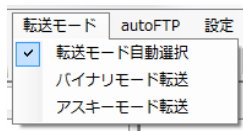
操作メニュー

ディレクトリを追加したり、ディレクトリやファイルを削除したりします



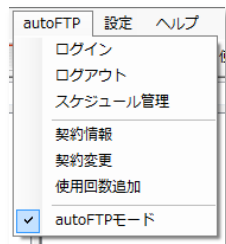
ブックマークメニュー

ディレクトリをブックマークに追加して、素早く指定ディレクトリにアクセスしたり、ブックマークを管理したりします



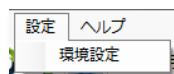
転送モードメニュー

FTPサーバーにアップロードする際の転送モードを設定します



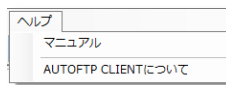
autoFTPメニュー

autoFTPにログインしたり、アップロードスケジュールを登録したり、autoFTPに関する機能を使用します



設定メニュー

クライアントソフトの全体の設定等を変更します



ヘルプメニュー

クライアントソフトの情報を表示します

3-2 画面・機能紹介（ツールメニュー）



接続ツール

FTPサーバーの設定・管理やFTPサーバーに接続・切断を行います



操作ツール

ディレクトリを追加したり、ディレクトリやファイルを削除したりします



ブックマークツール

ディレクトリをブックマークに追加して、素早く指定ディレクトリにアクセスしたり、ブックマークを管理したりします



転送モードツール

FTPサーバーにアップロードする際の転送モードを設定します



autoFTPツール

autoFTPにログインしたり、アップロードスケジュールを登録したり、autoFTPに関する機能を使用します。また、autoFTPにログインすると、アカウントの使用回数の状況を表示します。

3-3 アイコン種類



既存フォルダアイコン

現在存在しているフォルダのアイコン



予定フォルダアイコン

現在は存在していないが作成される予定のフォルダのアイコン。マウскарソルを重ねると、スケジュール名と、作成される日時が表示されます。



既存ファイルアイコン

現在存在しているフォルダのアイコン



予定ファイルアイコン

現在は存在していないがアップロードされる予定のファイルのアイコン。マウскарソルを重ねると、スケジュール名と、アップロードされる日時が表示されます。

4 利 用 の 流 れ

4-1 インストール

1. インストールファイルの入手

インストールファイルを当社オフィシャルサイトよりダウンロードしてください。

当社オフィシャルサイト内の下記ボタンをクリックするとダウンロードが始まります。

適当なフォルダ(デスクトップ等)にダウンロードして下さい。

(当社オフィシャルサイト:<http://www.ryuki-design.jp/theme53.html>)

無料お試し版ダウンロード

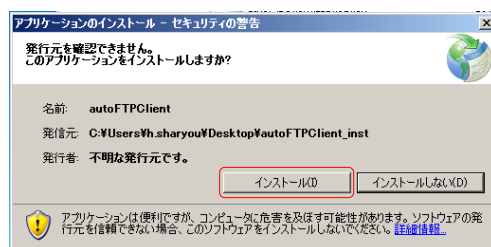
2. インストール

ダウンロードしたファイルは圧縮されています。解凍ソフト等を使用して、適当なフォルダ(デスクトップ等)に解凍して下さい。

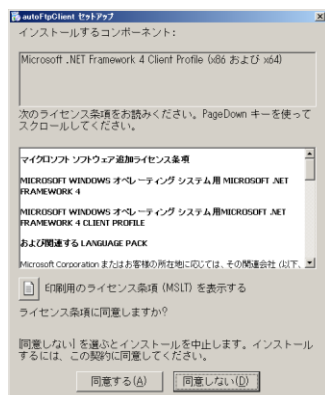
解凍したフォルダを開き、setup.exeをダブルクリックして起動してインストールして下さい。

下記のウィンドウが表示されたらインストールボタンを押して下さい。

インストールが開始され、ソフトが起動します。

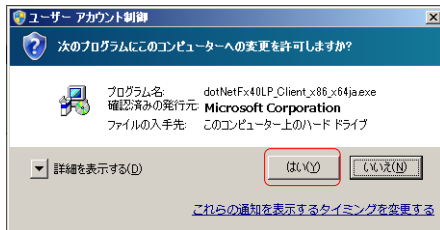


必須コンポーネントが足りない場合



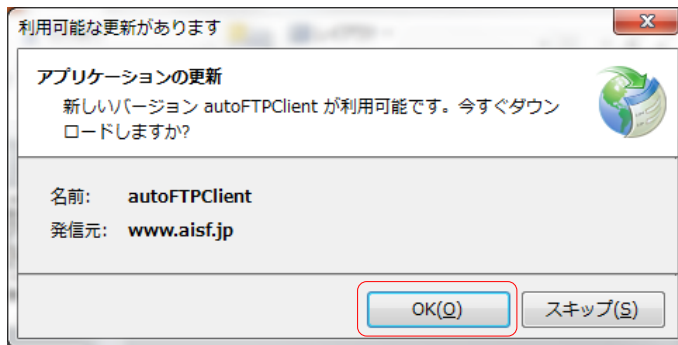
インストール中に左記のようなウィンドウが表示される場合は、autoFTP Clientの動作に必要なコンポーネントがPCにありません。

ウィンドウの同意するボタンを押してコンポーネントをインストールして下さい。



Windows7又はVISTの場合、左記のような許可を求めるウインドウが表示される場合があります。
はいを押して許可して下さい。

※autoFTP Clientは起動時に新しいバージョンがないかを自動的にチェックします。
下記のようなアップデートを促すメッセージが表示された場合は、アップデートを行なって下さい。そのまま使用されますと、不具合が発生する場合があります。
また、インストール直後にautoFTP Clientを再起動していただき、最新版であることを確認することをお勧めいたします。



4-2 FTP機能

ここではFTPソフトとしての使用法を説明します。
autoFTP Clientは簡易的なFTPソフトとして動作します。

1. FTPサーバーの登録

トップメニュー → 接続 → 設定 を選択していただくか、
接続ツールの設定アイコンをクリックして、接続設定ウインドウを開きます。



追加

新規にFTPサーバー情報を追加します。

削除

一覧で選択されているFTPサーバー情報を削除します。

接続テスト

設定されたFTPサーバーに試験的に接続するテストを行います。
FTPサーバー情報を入力後は接続テストを行われることをお勧めします。

簡単入力

ECサイト等のFTPサーバーで決まった設定の部分を自動で入力して新規でFTPサーバーを追加します。追加するサーバー種類を左側のドロップダウンリストより選択して下さい。

autoFTPで使用する

サーバーをautoFTPでできるようにautoFTPサーバーに登録します。

※FTPサーバーのユーザー名とパスワードは暗号化されて保存されますので安心してご入力下さい

2. 接続



接続ツールのドロップダウンリストから、登録したFTPサーバーを選択し、接続ボタンをクリックします。

接続ボタン

3. ファイルのアップロード

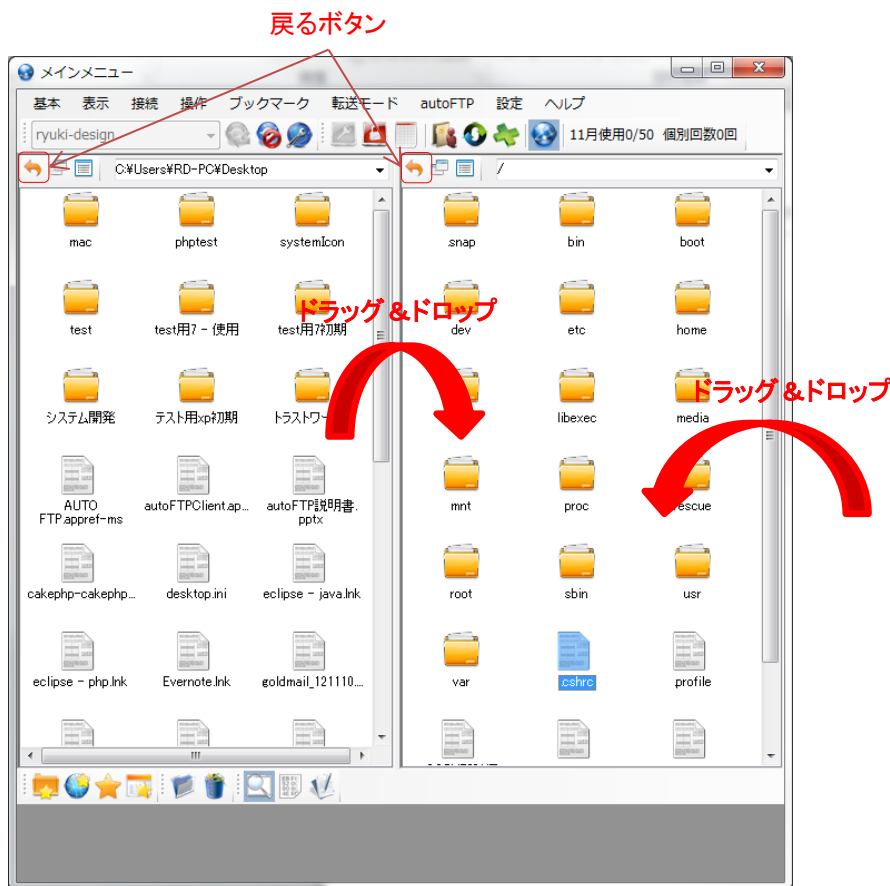
FTPサーバーに接続すると、下記のような画面になります。

リモートコンテンツエリアにFTPサーバー内の情報が表示され、ローカルコンテンツエリア内にPC内の情報が表示されます。

各コンテンツエリアのフォルダアイコンをダブルクリックすることで、フォルダを開き、戻るボタンで1つ上のフォルダに戻ります。

ファイルをアップロードしたいフォルダを表示させたら、ローカルコンテンツエリアのフォルダアイコン又は、ファイルアイコンをリモートコンテンツエリアにドラッグ&ドロップするだけで、アップロードが開始されます。

また、ファイルやフォルダを直接ドラッグしてアップロードすることもできます。

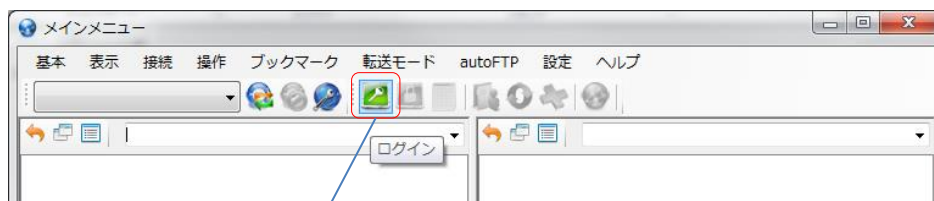


4-3 autoFTPの機能

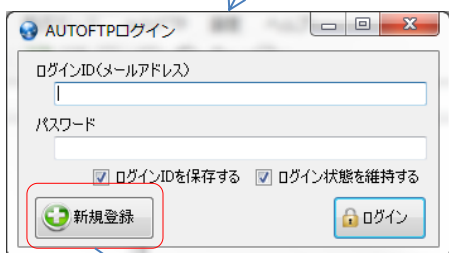
autoFTP Clientは通常のFTP機能だけでなく、autoFTPのスケジュールサーバーにアクセスして、ファイルのアップロードや、ディレクトリの作成、削除をスケジュールすることができます。

1. autoFTPにログインします。

autoFTPにアカウントをお持ちでない方は、新規にアカウントを登録してからログインして下さい。



ツールメニュー又は、トップメニューのautoFTPツールから、ログインボタンをクリックして、ログイン画面を呼び出します。



アカウント登録がお済みでない方は、新規登録ボタンからアカウントを登録して下さい。

ユーザー登録

登録区分
☒ 個人 ☐ 法人

赤字は必須項目

お名前(法人の場合担当者様) 氏 名
ふりがな 氏 名

法人名(法人の場合必須)

郵便番号 例) 〇〇〇-〇〇〇〇

住所

住所2(番地以降)

電話番号 例) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

連絡先電話番号 例) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 例) 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

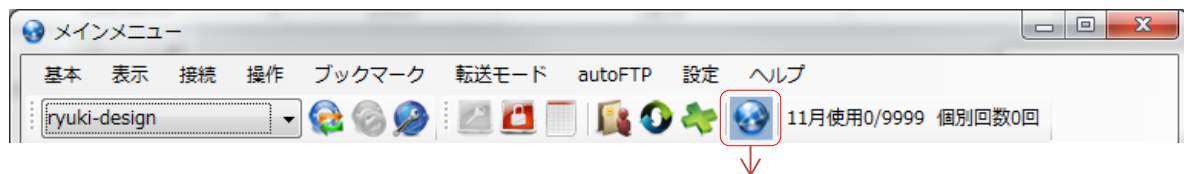
メールアドレス

パスワード(半角英数4~8文字)

☐ 利用規約に同意する

2. autoFTPモードにする。

autoFTPにログインすることによって、autoFTPモードが使用できるようになります。



autoFTPモードボタン
押すたびにautoFTPモードをON/OFFします



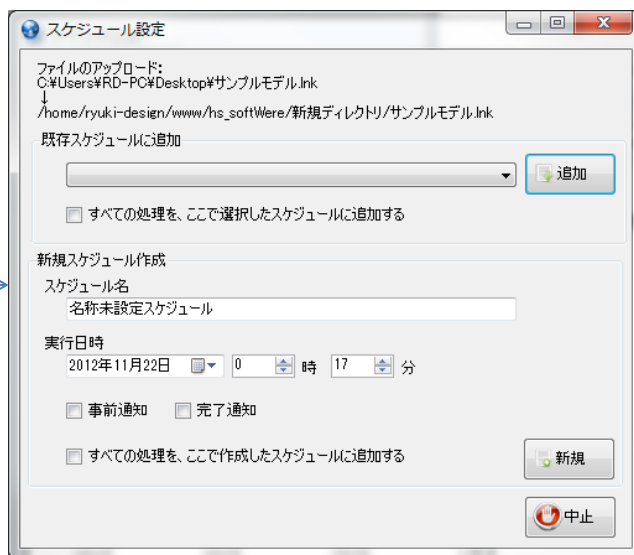
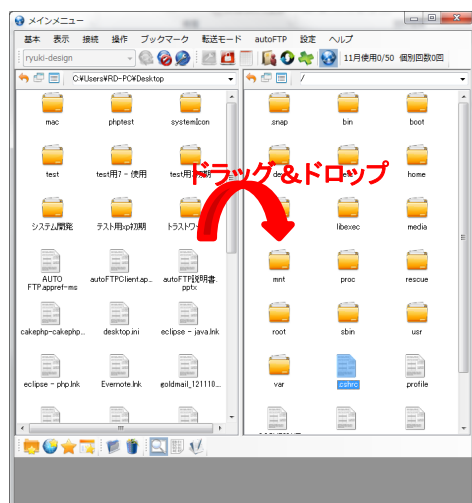
autoFTPモードON



autoFTPモードOFF

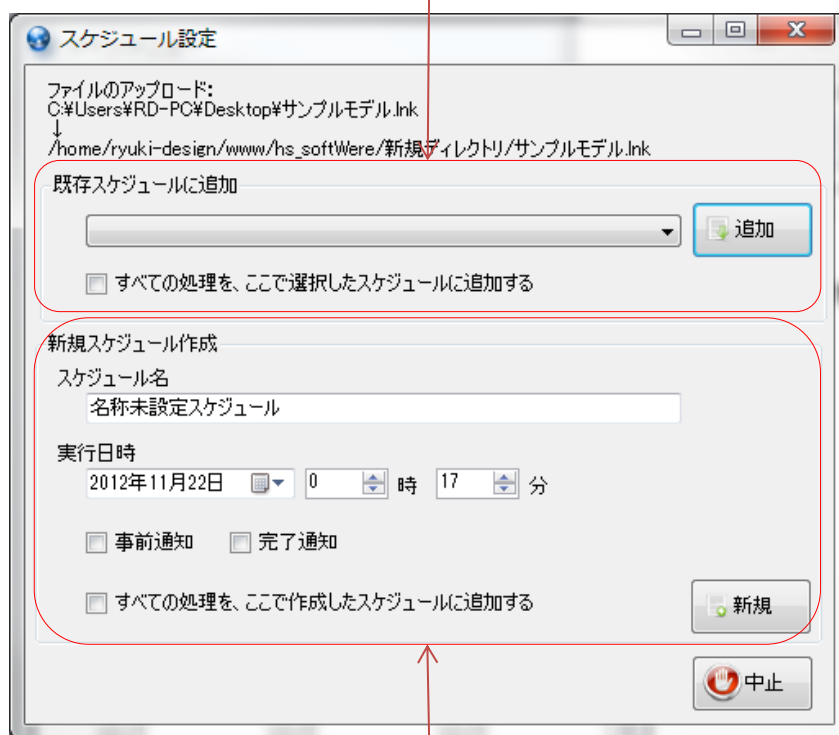
3. スケジュール登録

FTP機能でアップロードする手順でファイルやフォルダをアップロードしようとする、autoFTPモードONの場合、下記のようなスケジュール登録ウィンドウが表示されます。



スケジュール設定画面の説明

既存のスケジュールに処理を追加する機能



新規のスケジュールを作成し処理を追加する機能

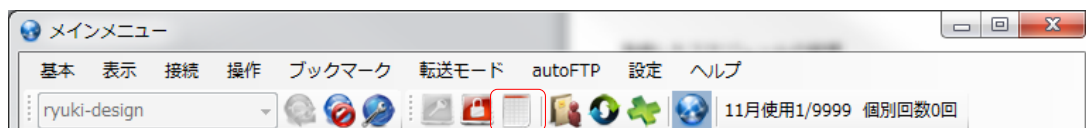
既存のスケジュールに処理を追加する機能

すでに登録されていて、実行日時まで60分以上の時間があるスケジュールが選択可能です。選択したスケジュールに、アップロードや、フォルダの作成などの処理を追加できます。

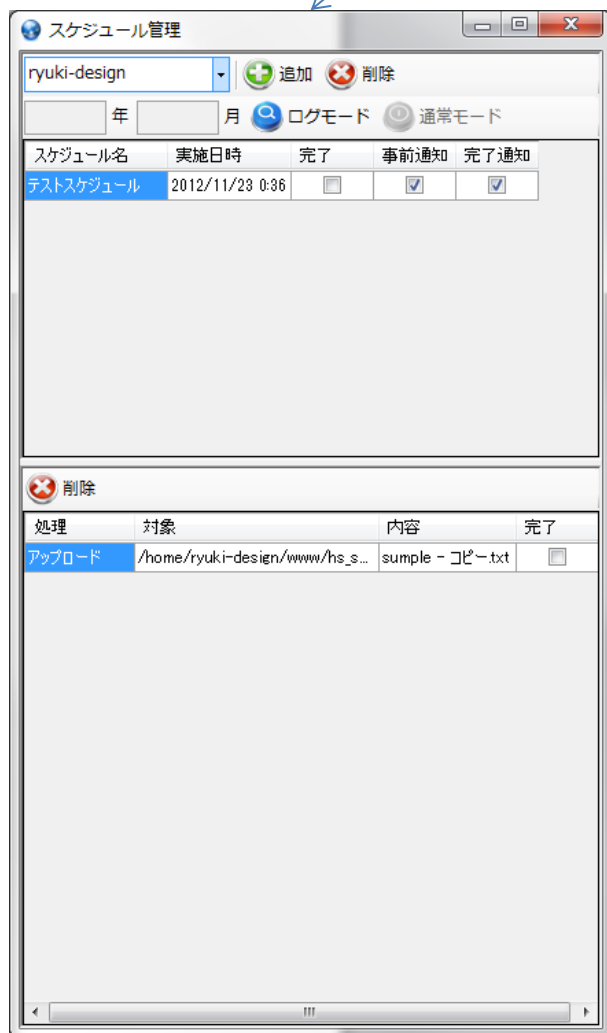
新規のスケジュールを作成し処理を追加する機能

ここで新規にスケジュールを作成し、アップロードやフォルダ作成などの処理を追加します。現時刻から60分後からのスケジュールを作成できます。

登録したスケジュールの管理



autoFTPツールのスケジュール管理ボタンからスケジュール管理機能にアクセスします。



スケジュール管理機能では、登録してあるスケジュールを管理できます。

スケジュール管理機能には通常モードとログモードがあります。

通常モード

デフォルトのモードです。登録中のスケジュールで、まだ完了していないスケジュールを表示します。ここでスケジュールの追加や削除、スケジュール内の処理の削除を行えます。

ログモード

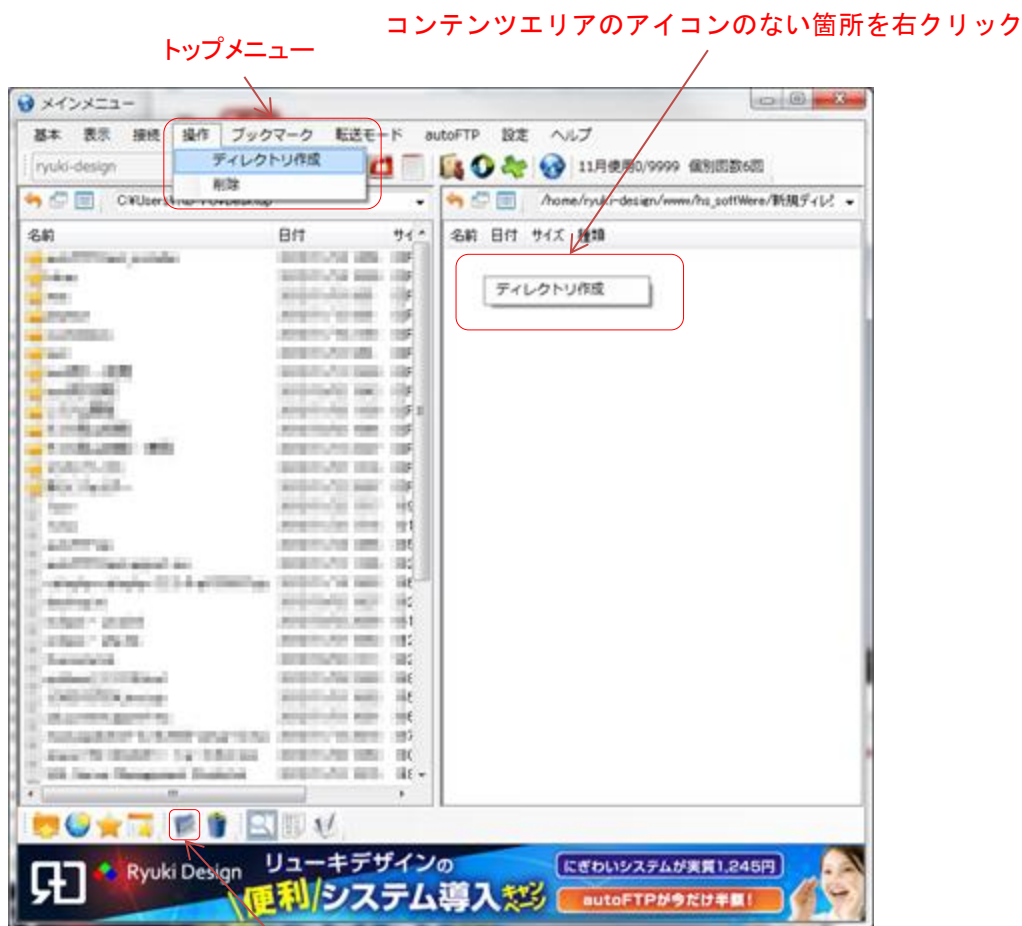
ログモードボタンで切り替えるとログモードになります。ログモードでは、完了したスケジュールも含めすべてのスケジュールが確認できます。ログモードは閲覧するための機能なので、ここでスケジュールの追加や削除、スケジュール内の処理の削除は行えません。年と月を指定して、指定した月のスケジュールを確認することができます。

4-4 その他の使い方

●フォルダの作成

新規フォルダは、トップメニューの操作→ディレクトリの作成を選択するか、ツールメニューのディレクトリ作成ボタンをクリックするか、リモート又はローカルのコンテンツエリアのアイコンのない箇所を右クリックすると表示されるメニューのいずれかから作成することができます。

この際、autoFTPモードがONであればフォルダ作成スケジュールを登録するメニューが表示されます。



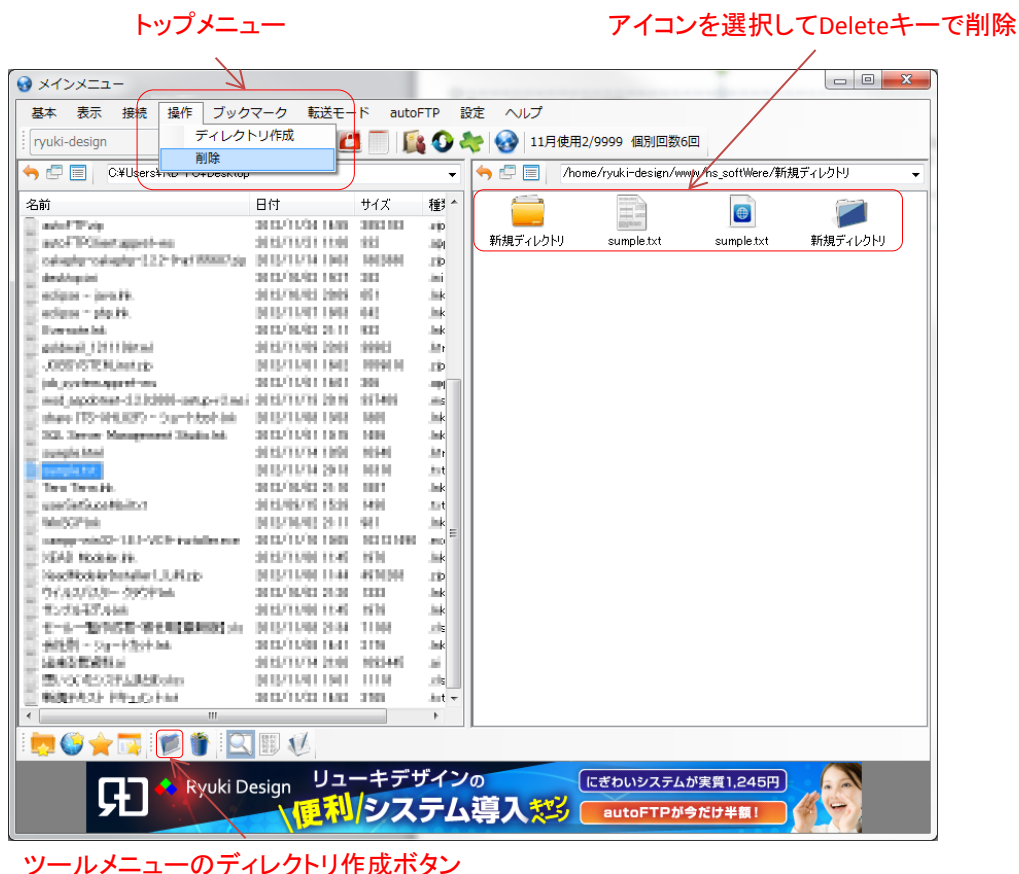
ツールメニューのディレクトリ作成ボタン

●ファイル・フォルダの削除

ファイルやフォルダの削除は、削除したいアイコンを選択して、トップメニューの操作→削除を選択するか、ツールメニューの削除ボタンをクリックする、もしくはキーボードのDeleteキーを押すか、アイコンを右クリックすると表示されるメニューから削除を選択するかのいずれかの方法で行うことができます。

既存のフォルダやファイルを削除すると、そのまま削除されます。作成予定のフォルダやファイルを削除すると、そのスケジュールを削除します。

また、autoFTPモードで削除すると、削除するスケジュールを登録するメニューが表示されます。



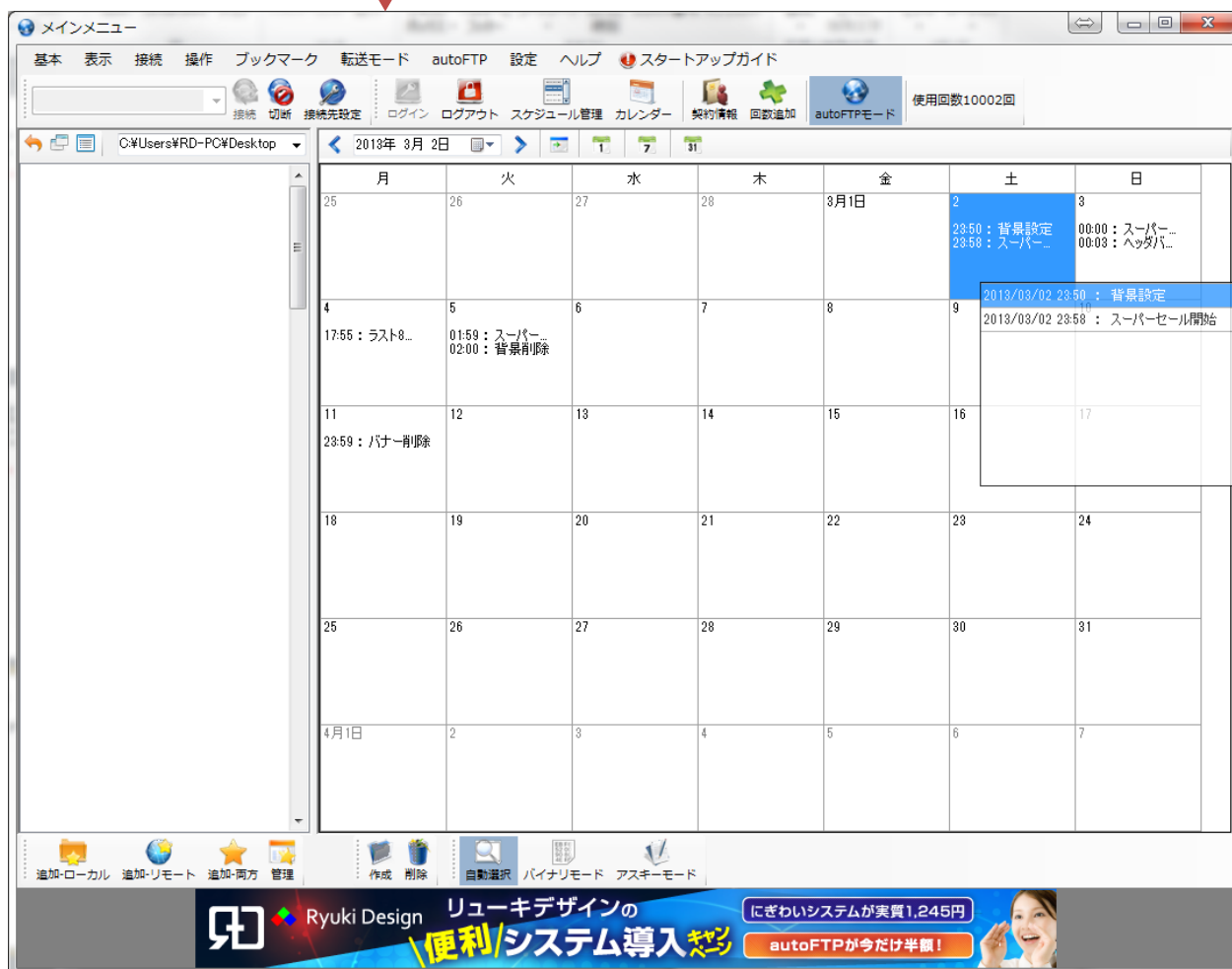
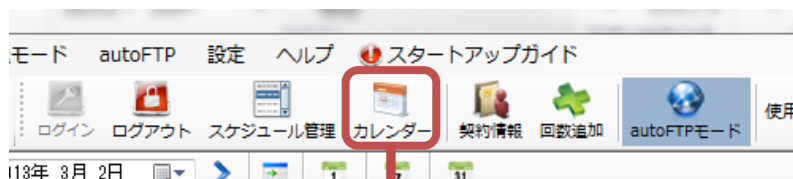
5 バージョン2.0からの新機能

5-1 カレンダー機能

バージョン2.0からカレンダー機能が追加されました。

スケジュール機能のあるautoFTPならではの機能です。カレンダー上にスケジュールが表示され、今後予定されているスケジュールや、過去のスケジュールを一目で把握出来ます。

また、スケジュールの作成や、調整なども可能です。



カレンダーからの入力

カレンダーから、スケジュールを登録するには、以下の2つの方法があります。

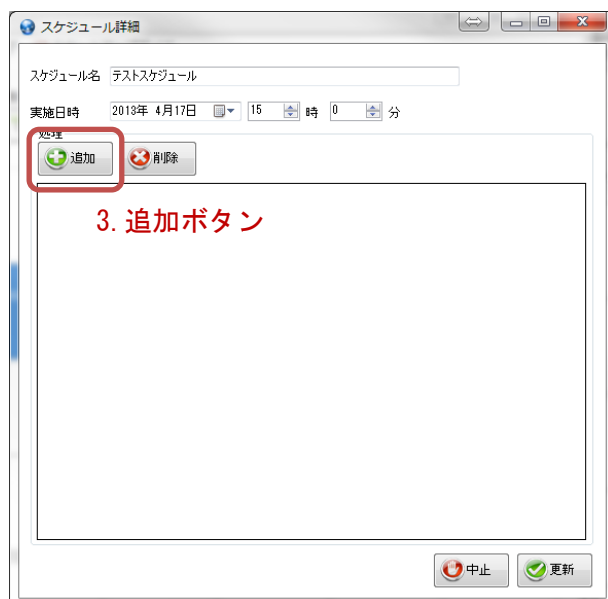
■方法 1. 詳細画面から入力する

スケジュールを入力したい日付をカレンダー上でクリックします。そうすると、その日に予定されているスケジュールが出てきますので、追加ボタンを押して下さい。



追加ボタンを押すと、「名称未設定スケジュール」という空のスケジュールが登録されます。この画面で、スケジュール名をダブルクリックすると、そのスケジュールの編集をすることができます。

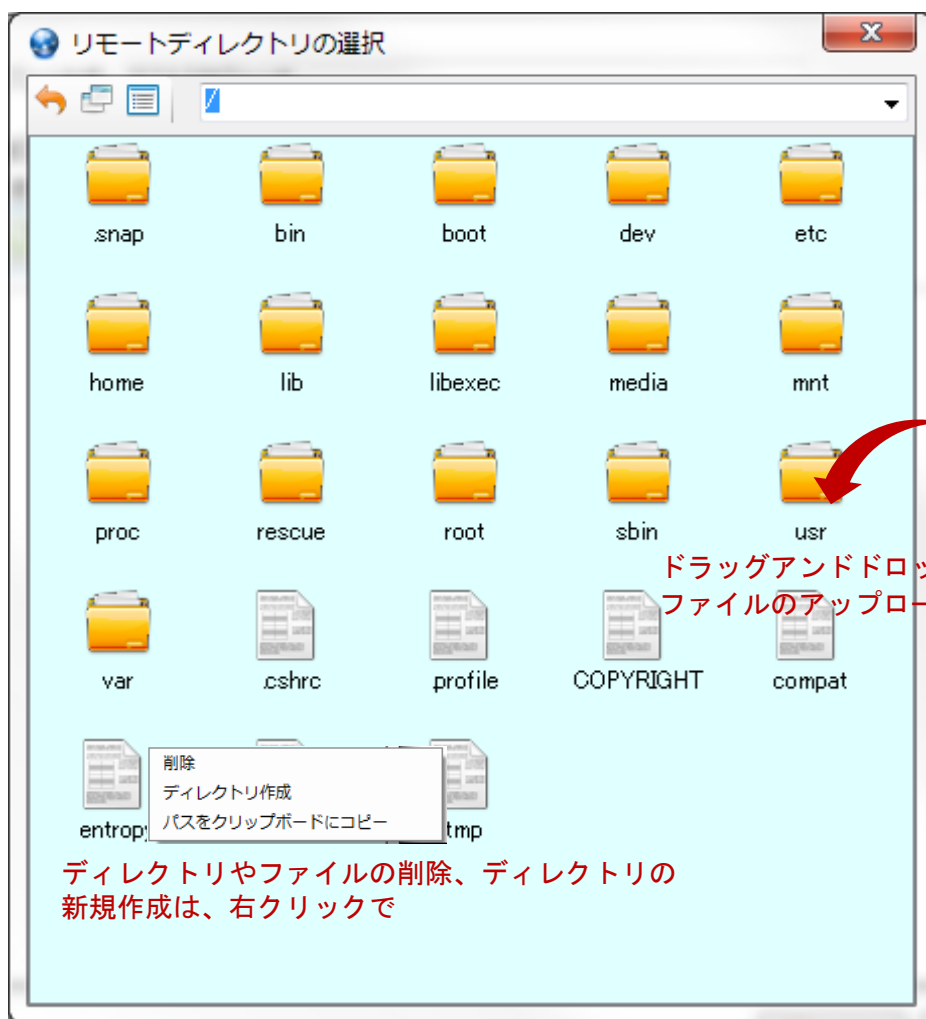
編集画面



スケジュールに処理を追加する際は、追加ボタンを押します。

詳細画面の追加ボタンを押すと、リモートエリアが別ウインドウで表示されます。あとは、通常のautoFTPモードでスケジュールを追加する場合と同じ操作です。

ファイルのアップロードをスケジュールする場合は、ドラッグアンドドロップで、ディレクトリやファイルの削除、ディレクトリの新規作成の場合は、右クリックからメニューを開いて行います。



■方法2. カレンダーに直接ドラッグアンドドロップする。

カレンダーにファイルを直接ドラッグアンドドロップすることもできます。この方法で登録されたスケジュールは、ドロップされた日付に入力できる最小の実行日時でスケジュールとして登録されますので、実行日時を調整して下さい。

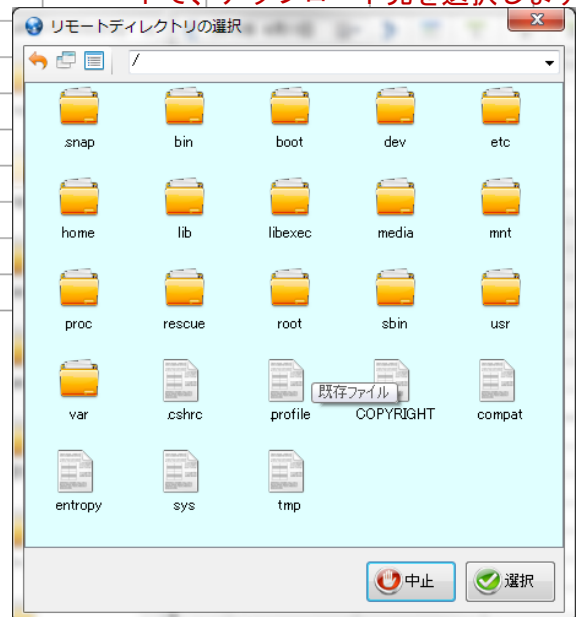
	2013年4月11日	2013年4月12日	2013年4月13日	2013年4月14日	2013年4月15日	2013年4月16日	2013年4月17日
0:00							
1:00							
2:00							
3:00							
4:00							
5:00							
6:00							
7:00							
8:00							
9:00							
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							

1. スケジュール登録したい日付に、
ファイルをドラッグアンドドロップ

2. いつものリモートエリアウィ
ドで、アップロード先を選択しま

1. スケジュール登録したい日付に、
ファイルをドラッグアンドドロップ

2. いつものリモートエリアウインドで、アップロード先を選択します。



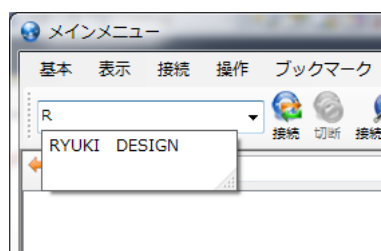
3. 入力完了です。実行日時やスケジュール名を調整して下さい。

[illegible]

5-2 その他の変更点

■FTPサーバー名検索機能

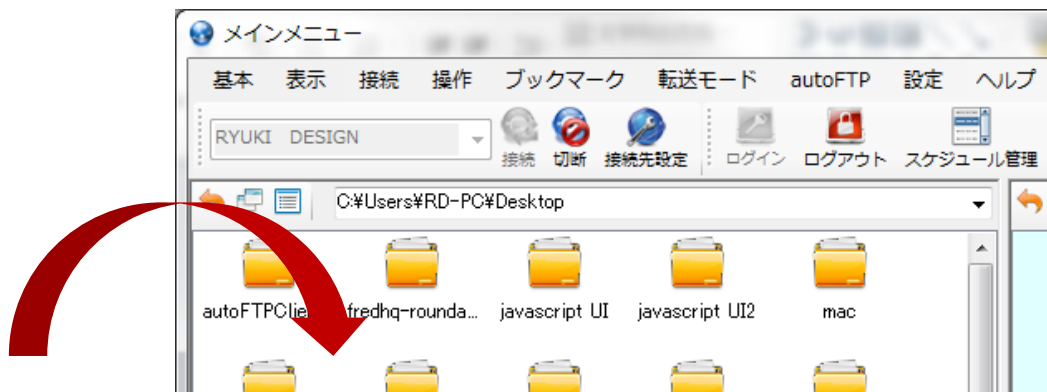
多くのFTPサーバーを登録していると、FTPサーバーを選択する際に時間がかかってしまうというお声から、追加された機能です。



FTPサーバーを選択するセレクトボックスに文字を入力すると、候補が選択肢として現れます。

■ローカルエリアの移動法

某FTPソフトに付いている機能で、ローカルエリアにファイルやフォルダをドラッグアンドドロップすると、そのフォルダやファイルのディレクトリまで移動する機能です。



ローカルエリアにファイルやフォルダをドラッグアンドドロップすると・・・



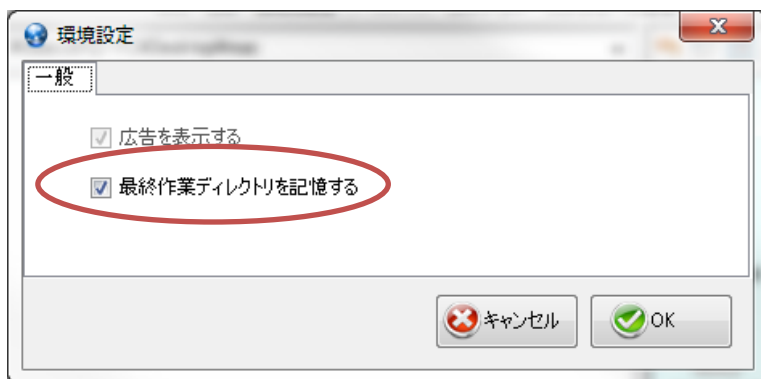
そのディレクトリに一気に移動します。

5-2 その他の変更点

■作業していたディレクトリを記憶する

バージョン2.0から、作業していたディレクトリを記録し、FTPサーバーに接続した際に、前回作業していた最後のディレクトリが初期ディレクトリとなるようになりました。

この設定の変更は「環境設定」から行うことができます。



autoFTPは、皆様からのご意見を元に、今後もバージョンアップを重ねてまいります。

「こんな機能がほしい」や「他のソフトには付いているのにない」などなど、ご意見、ご要望をお気軽にお寄せ頂ければと思います。

これからも弊社並びにautoFTPをよろしくお願い致します。